

あけましておめでとうございませう。今年が町民の皆様にとって輝かしい年になりますようお祈り申し上げます。

今でも、東日本の地震と原発事故による避難生活や仮設住宅などで厳しい暮らしをされている皆様、台風12号の記録的豪雨による被害を受けられました皆様、タイの大洪水など世界における被災地の皆様にお見舞いを申し上げます。また被災地に対して町民の皆様からの温かい支援をいただきました。地震などの災害はいつ、どこで、どんな災害が起こるか分かりません。常に防火・防災意識を持って行動していただきたいと思っています。

今年、世界の不況による円高などで、日本経済の落ち込みとともに、町民の生活にも税や社会保障問題が大きな課題の年となるようです。日本が一つになるためには地域の元気が一番です。元気な地域づくりは健康から始まると考えます。

さて町では、昨年10月1日に観光交流施設「大津町ビジターセンター」がJRR肥後大

津駅南側にオープンしました。宿場町の温かさや都市の機能性を兼ね備え、観光や情報発信の拠点となります。空港と肥後大津駅を結ぶ新たな手段としての「空港ライナー」の利用も好調であり、阿蘇くまもと空港と九州新幹線への接続ポイントとして肥後大津駅の機能強化ができたものと考えます。これで町の玄関口の施設整備はおおむね完了します。今後は観光協会の設立を目指し、ソフト部門の充実にも努めてまいります。

4月には、まちづくり交流センターを整備し、町の特産品開発などによる物産振興に取り組みとともに高齢者団体・町各種団体の交流機会の増進を行います。また、旧法務局跡地に、町内の文化財物件・文化遺産を町民に公開し、歴史的・現代的な文化を愛好する団体、地域の歴史に根ざした貴重な文化遺産を伝承する団体などの活動拠点として「歴史・文化伝承館」をオープンします。

教育や子育てにつまみしては、平成25年4月には、大津小学校過大規模解消のため町立美咲野小学校が開校する予

定であり、また今年、子育て支援と待機児童解消のため、新しい保育園（民間）の創設を予定しています。アルコール工場跡地につまみしては、誰でも自由に交流のできるふれあい広場や健康増進のためウォーキングなどができる広場、子どもが遊べるちびっ子広場がある大津中央公園（仮称）を整備します。公園では、太陽光発電による自然に優しいエネルギーによって公園内街灯の約半分に電力供給を行います。また非常時には、太陽光発電は電力の供給源としての役割も果たすこととなります。

大津町の国勢調査における人口増加率は、県内第2位であり、元気な町として着実に発展を続けています。今後も引き続き発展していきますよう、町議会として町民の皆様と協力し、今年も全力を尽くしてまいります。町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大津町長 家人 勲
副町長 上田 英典
教育長 那須 雪子

あけましておめでとうございませう。輝かしい平成24年の年頭にあたり、議会を代表して、謹んでごあいさつを申し上げます。平素より議会に對しまして温かいご支援をいただき、心より感謝を申し上げます。

昨年は、3月11日に宮城県沖を震源とする観測史上最大規模の東北地方太平洋沖地震が発生し、多数の死者・行方不明者を出しました。また福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出を伴う重大な事故にも発展しました。

震災による死者・行方不明者、そして今なお仮設住宅などで生活されている避難者の皆さんや、住み慣れた土地を離れ生活されている皆様のことを思うと胸が痛みます。

一日でも早く被災された皆様が以前のように安心して暮らせる日が戻るよう願うものです。

また、昨年はより円高が急激に進み、戦後最高値を更新するなど日本経済を大きく揺るがし、さらには、国際的な立場での多面的で非常に重要な問題であったTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）へ

の参加表明をするなど激動の年でありました。

今年も円高による企業への影響とTPP参加協議による不透明な状態が予測される中で、さまざまな行政課題への対応も求められています。限られた行政資源を有効に活用しながら、町民の皆様の満足度が向上することを目指しつつ、我慢するところは我慢しながら、無駄を省き、スクラップ&ビルドの精神で、行財政改革を推進していきます。

さて、明るい話題としては、人口が緩やかではございますが、年々増加傾向にあります。昨年一年間で約700人の増加となり、それは、大津町の財産であります「子どもたち」の増加へとつながっています。昨年は、大津小学校の分離校が「美咲野小学校」として、平成25年4月開校を目指し建設に着手しました。

また昨年10月、JRR肥後大津駅の南口に大津町ビジターセンターが開設されました。駅から空港までを無料で送迎する「空港ライナー」の試験運行も行われ、新たな玄関口と観光情報の発信拠点として大いに期待されています。

議会では、議会活性化調査研究特別委員会を設置し、開かれた議会を目指しています。また「議会だより」や「議会の傍聴」、役員ロビーでの「テレビ中継」を行い、透明性の高い議論の展開を目指し、安心と安らぎのある地域社会であるよう検証してまいります。

最後になりましたが、町民の皆様のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

大津町議会議長 大田黒英生

町議会議員

金田 俊二 坂本 典光
府内 隆博 石原 大成
吉永 弘則 手嶋 靖隆
源川 貞夫 永田 和彦
鈴木ムツヨ 松永 幸久
大塚龍一郎 宇野 光廣
新開 則明 荒木 俊彦
月尾純一朗

2012 新年のごあいさつ



大津町議会議長
大田黒英生

大津町長
家人 勲